

「アル建アーカイブ」発刊にあたって

1994年に、アルミニウム建築構造協議会は従来の住宅建築材料の短寿命、3Rの困難さに対するアルミニウムの可能性を追求するため、アルミニウム建築構造推進協議会を、通商産業省(現・経済産業省)非鉄金属課、及び建設省(現・国土交通省)の支援の下、設立しました。その後、1999年のNEDO委託事業・「アルミエコハウス」による実証事業の開始を契機として、アルミニウム建築構造協議会と改称しました。

2002年には産官学の協力によって、国土交通省からの建築基準法の改正・アルミ建築構造の告示が公布され、アルミニウムが鋼材等と同様、構造部材に使用できる材料として認められ、通常の確認申請で容易に建築が可能となりました。これを受け、協議会会員企業は元より、多くの建築家によって、様々なアルミ建築への試みが展開し、当協議会でも2005年よりアルミハウスプロジェクトを立ち上げました。一方、2002年に「アルミニウム建築構造物製作管理技術者」、「アルミニウム建築構造物製作工場」の認定制度も発足しました。また、1995年9月より会報誌「AL建」を発刊し、協議会の活動を中心に報告してきました。

当協議会は、本年度、設立20周年を迎えます。6月4日の第30回理事会、第21回通常総会、年次講演会において、「AL建」1～40号をまとめた「AL建アーカイブ」にて、アルミニウム建築構造協議会の20年間の歩みを、21年目からの新たな展開を期して紹介します。

2007年のリーマンショックより、停滞していた日本経済も明るい兆しが見え、当協議会も、これまでの活動の反省を踏まえ、アルミ建築構造部材の規格化、標準化、そして、耐火等の調査、研究にも取り組みたいと考えています。

「AL建アーカイブ」も、アルミ建築構造に携わる方々の一助となれば、幸いです。

今後とも、ご支援、ご指導をお願い致します。

2014年6月

「AL 建アーカイブ」編集委員会